

評価指標及び実行指標

評価指標	項目	アウトカム又はアウトプット指標	H24年度末時点	
虐待の実態把握と要因分析				
県への児童虐待通告における最重度・重度の割合 現状 22年度 4.1% 23年度 2.9% 24年度 4.3% 目標 28年度 2%以下 (22年度値の半減)	児童虐待の実態等の 検証	県子ども家庭相談センターへの児童虐待通告における最重度及び重度の割合	4.3%	
子どもと家庭を見守る県民の意識づくり				
オレンジリボンキャンペーンを実施する市町村数 現状 22年度 16市町村 23年度 22市町村 24年度 28市町村 目標 28年度 39市町村	地域における見守り 活動の強化	地域子育て支援拠点事業実施箇所数	61箇所	
		ホームページ「子育てネットなら」のアクセス数	728,711件	
		なら子育て応援団登録団体数	719団体	
		児童虐待対応において民生・児童委員と連携した取組を実施する市町村数	6市町村	
	啓発活動の推進	オレンジリボンキャンペーンを実施する市町村数	28市町村	
虐待の予防と早期の対応				
乳幼児健診未受診児(3～5か月)の現認率(直接会って確認した率) 現状 22年度 36.1% 23年度 88.7% 24年度 78.8% 目標 28年度 100%	母子保健活動との連携強化	産後の悩みに対応した両親教室を開催する市町村数	4市町村	
		乳幼児健康診査の受診率(3～5か月児)	97.1%	
		乳幼児健診未受診児の現認率(3～5か月児)	78.8%	
	子育て支援の充実		保護者向けペアレント・トレーニング講座を実施する市町村数	2市町村
			ショートステイ、一時預かり事業を実施する市町村数	26市町村
			養育支援訪問事業を実施する市町村数	27市町村
	虐待通報対応の充実・強化		要対協関係者を対象とした研修を実施する市町村数	20市町村
	要保護児童対策地域協議会の充実・強化		市町村要対協における個別ケース検討会議の開催回数	774回
未然防止研修プログラムを実施する市町村数			/	
虐待を受けた子どものケアと家庭への支援				
家族再統合にあたり、家族応援会議など保護者等を交えた地域支援を実施した割合 現状 24年度 14.0% 目標 28年度 30% (24年度値の2倍以上)	一時保護の機能充実	社会スキル訓練プログラム等を活用した児童へのグループワークの実施回数及び参加児童延べ人数	39回 324名	
	社会的養護体制の充実	里親に委託した児童数(各年度末の里親委託児童数)	32名	
	被虐待児等へのケアの充実	地域小規模施設等の小規模ユニット数	10箇所	
	家族の再統合、子どもの自立への支援	保護者支援プログラムを実施した件数(保護者数) 家族再統合にあたり、家族応援会議など保護者等を交えた地域支援を実施した割合	/	
子どもと家庭を支援する体制づくり				
児童虐待対応職員1人当たりの対応件数 現状 22年度99.1件 23年度104.3件 24年度120件 目標 89件 (22年度値の10%減)	県、市町村、関係機関の連携体制の充実・強化	未所属児童(4～5歳児)の現認を行う市町村数	35市町村	
		児童虐待相談(県)の経路別件数のうち医療機関の件数	33件	
		子ども家庭相談センター職員等による学校への出前講座実施回数(園・校数)	42回	
	市町村の組織体制の充実・強化		児童虐待対応職員(市町村)1人当たりの対応件数	30.3件
			子ども家庭相談センター職員等による市町村への巡回相談実施回数	11回
			県が実施する市町村職員等を対象とした研修の参加者数(延人数)	551名
			児童虐待対応職員(県)1人当たりの対応件数	120件
県の組織体制の充実・強化		児童虐待対応職員(県)1人当たりの対応件数	120件	